04 自主保全士検定試験　企業の取り組み事例

YKK株式会社
製造・技術本部　生産技術部
開発推進室　製造基盤強化G
中出　秀良 氏

TPM活動の取組

はじめに

この度、自主保全士検定における団体表彰という栄誉を頂きまして、誠に光栄でございます。日頃のTPM活動とその人財育成（YKKでは人材をこのように表記）への姿勢がこのような結果に結びついたものと思っております。当社のTPMに携わるすべてのスタッフを代表し、感謝申し上げます。

YKK株式会社のTPM活動

当社でTPM活動を開始したのは2002年でした。その当時は安全面に特化した形で設備の不安全箇所に焦点を当て、一部の設備に限っての活動に留まっていました。その後2007年にこの手法を安全面だけに留まらず、YKKとしてTPM活動を通した設備のメンテナンス、あるべき姿の追求とその具現化に繋げるために、あらゆるロス・不具合を顕在化し、自主保全活動、個別改善活動に展開してきました。2008年に日本工場でキックオフ大会を開催、現在では日本工場を含めて海外15工場まで拡大しています。その活動の統一目標として設備総合効率向上があります。モデルラインを選定、各社それぞれに目標を掲げ、達成に向けて取り組んでいます。

TPM世界大会

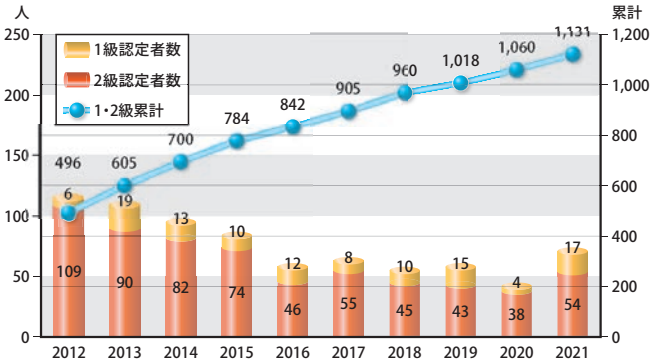
活動の活性化を目指して、2011年より海外各社の代表サークルを日本に集め、日頃の活動を発表するTPM世界大会を開催しています。大会には11～14工場の参加があり、英語、中国語のみならず韓国語、ベトナム語と海外各社の言語で発表し、YKKならではの国際色の濃い大会となっています。また発表会だけでなく、日頃の苦労や悩み、相談事を参加国で共有し、コミュニケーションの場にもなっています。現在まで大会は9回を数え、2021年度はコロナ禍の中、リモートで初めて開催しました。

この困難な状況下に於いても各社継続した活動を行っており、それに対して成果発表の場を設ける必要を感じました。また併せて経営層からもこの大会への期待も感じました。

人財育成（自主保全士検定）

TPM活動を支える人財の育成、設備に強いオペレーターとして自主保全士資格取得があります。2005年より資格取得に挑戦し、その為にOFF-JTとして「TPM道場」という締結、潤滑油、駆動、油・空圧、電気の保全基礎教育を行いました。現在はTPM活動のみならずものづくりの基礎道場として形を変え、講習内容を実務に直結し、項目に絞ったコンパクトな講習会となっています。またOJTとして各職場でのTPM自主保全・個別改善活動への参加、外部講師による指導会を開催しました。試験対策として当初は外部、内部講師による過去問を中心とした講習会を実施しました。現在は有資格者数自体が十分に増えてきていること、合格率についても問題ない数値であることより、現在はテキスト配布のみの自主学習にて対応となっています。受験者は2級取得に留まらず積極的に1級にも挑戦しています。自主保全士資格を取得した方はTPM活動のサークルリーダーとして活躍するように仕掛けており、サークル内でローテーションを組んで活動全体の底上げを図っています。

直近10年間の自主保全士取得者推移



製造現場では自主保全士の資格を持ち、サークル活動でリーダーとして実績を積み、内容を熟知したTPM伝道師と呼ばれる方が定期的に現場を訪問しサークルの声を聴き、アドバイスを行っています。現場に寄り添って対応することは伝道師の重要な役割です。現職の方が既に10年以上担当し、次の世代の人財を育成すべく人選を行い、講習会開催を進めています。

グローバル人財の育成としての自主保全士資格取得の側面もあります。海外へ赴任される方はTPM活動を習熟した上で、現地での活動支援を行います。現地でもTPM手法、つまり設備のあるべき姿と現状のギャップによるロス把握、そのロス（不具合）対応による設備の改善、維持活動を通してTPM活動の活性化、設備総合効率向上を指揮し、活躍することを期待しています。

座学風景

実技風景